

# 高岡の観音霊場 一覽

高岡市内の寺などに設けられている「高岡新西国三十三観音霊場」を巡ってらおと、国宝瑞龍寺（同市関本町）とまちの駅ネットワーク高岡が、全33カ所を紹介するマップを作った。参拝すると「利益がある」とされ、同寺は「一覽できるマップを手にせび巡ってほしい」と話している。（高倉陽）



東西部

瑞龍寺にある石仏の前でマップを示す四津谷住職

## 33カ所紹介「魅力再発見を」

高岡の観音霊場は昭和初期、市内の寺院関係者ら有志が設けたとされる。日本の代表的な仏教巡礼地として知られる西国三十三所にならう、関西を中心とした霊場から持ち帰った砂を、境内などに祭った高さ約1尺の石仏の下に埋め込めるといふ。参拝すれば西国三十三所を巡ったことになり、ご利益があると伝わる。

中、地域の魅力に触れてもらいたいと、高岡の霊場の一つになっている瑞龍寺の四津谷道宏住職が発案し、市内のデザイン会社と製作。まちの駅が協力した。マップでは第一番札所の龍雲寺（高岡市利屋町）から33番の繁久寺（同市芳野ま）までの位置を示し、各寺の石仏を写真付きで紹介。札所の番号が同じである西国三十三所の寺院名も記した。A3判（じょうばら折り）カラーで3千部作った。瑞龍寺のほか、市内のまちの駅で無料で手に入る。四津谷住職は「高岡の魅力を再発見してもらいたい」と話している。



高岡市内に33カ所ある霊場を紹介したマップ

